

別館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営 1～5 (自己№1～24・外部№1～14)				自己評価24項目・外部評価14項目	19	
理念に基づく運営	1 理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)			自己評価3項目・外部評価2項目	2	
	1 理念の共有	1 外部評価1	○ 地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者一人ひとりの生活、暮らしを基に障害を抱えてもその人らしさを重視し取り巻く環境を踏まえた理念になっている。	1	常に利用者、家族のニーズを把握しながら適切な理念になっているか評価を行っていく。
		2 外部評価2	○ 理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が単なるものとならぬよう、会議等で折に触れて具体的に確認を行っている。生活援助計画を立案する際にも理念を基に行ってる。	1	理念に沿った方向性がずれないように、今後も繰り返し返していく。
		3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方へ説明会を行っている。家族が来訪時、生活に必要な事を根拠とともに話し合っている。日々の活動内容やその結果について来訪時伝えている。	0	見学会を実施。
	2 地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)			自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との支え合い	4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	畑で取れた野菜、果物のおすそ分け。地域の会合や老人会の集まりに管理者が参加し、近隣の方々と交流を続けている。散歩時等で挨拶などは交わすが、立地の兼ね合いもあり近隣の方々とそれ以上の交流はない。	1	今後も継続的に交流を行っていく。
		5 外部評価3	○ 地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会等の会合や説明会、町内の清掃活動への参加を通じて交流を行っている。施設の行事（夏祭り等）を通じ交流をしている。	1	年間を通じて町内、自治会の活動に参加をすすめ交流を深めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 と いの	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会より医療や介護について勉強会を行ってほしいと依頼もあり、定期的に会を設けている。	0	
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)		自己評価 5 項目・外部評価 4 項目	5	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価 4	○評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年一回の外部評価を受けている。外部評価の活用方法を皆で勉強しながら、職員全員で話し合っている。	1	前回の外部評価で指摘のあった箇所具体的に改善が進んでいない箇所が残っているので今後も更にすすめていく。
		8 外部評価 5	○運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の結果を会議等で検討し十分ではないが少しずつ改善している。	1	今後も、定期的に会議を開催していく。
		9 外部評価 6	○市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話だけで要件を済ませるのではなく、足を運んで質の向上に取り組んでいる。	1	引き続き情報交換の機会を設けていく。
		10 外部評価 7	○権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会、研修会への参加。必要に応じて紹介、支援を行っている。	1	今後も継続して行っていく。
		11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士注意し合える関係を作っている。勉強は行っているが公の場で学ぶ機会がない。入浴、更衣時の全身観察。	1	情報を集め学びの機会を設ける。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営		4	理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)	自己評価7項目・外部評価3項目	5	
		12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に想定されることや辞令を交えて説明を行い理解を得ている。	0	
		13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会内の中でユニットごとに意見交換を行える場を設け、意見等を募っている。	1	今後も、折に触れ会話を通じて確認していく。
	4	14 外部評価8	○ 家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会や来訪時に状態を報告している。又、担当スタッフが中心となり毎月写真付で手紙を書いて伝えている。2ヶ月ごとにグループホーム全体のお便りを発行している。状態の急変時等は個別に速やかに連絡している。	0	
		15 外部評価9	○ 運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1～2回家族会を開きその都度公の機関を紹介している。家族会で集まった意見等は改めて経過を報告している。	1	利用者、家族によっては十分に聞き取ることができていない為、よりよい関係作りをすすめている。
		16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	度々顔を合わせて現場の考え、意見のすり合わせを行っている。	1	今後更に回数を増やしていく。
		17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	話し合いや調整を行っているが現状に適した形とはいえない。夜勤時間の調整。ミーティング時他のユニットからの応援。	1	どのような体制が必要なのか、今後も試行錯誤を重ねていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 め を の 実 体 制 制 す	18 外 部 評 価 10	○ 職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニットごとに職員を固定し、異動を必要最小限に抑える努力をしている。離職等で職員が交代する際には、以前より関わっている職員を中心に利用者のダメージが最小限になるよう努力している。	1	離職には様々な理由があるが、離職率をいかに抑えていくかが今後の課題。
	5	人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	5	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	○ 人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用時、性別、年齢、経験等で判断してはいない。配属に関しては、個性を認めた上で行っている。	0	
		20 外 部 評 価 12	○ 人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権啓発週間に合わせ講演会に参加している。参加できなかった職員には、参加した職員からの報告発表の機会を設けている。	1	更なる機会を設ける。
		21 外 部 評 価 13	○ 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修、リーダー研修、その他研修に参加できるよう機会を設けている。毎月の内部勉強会。	1	研修等に参加できない職員への教育体制の確保。
		22 外 部 評 価 14	○ 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県グループホーム協議会活動を通じ、近隣の同業者と交換研修や勉強会を行っている。	1	入居者さんを交えた交流を計画中。
		23	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	協議会の相談窓口の紹介、法人内相談窓口の紹介。親睦会。個別相談。	1	現在の対応では十分にストレスが軽減できていない為、更なる取り組みが必要。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員が入居者の担当を受け持っており、責任、達成感を実感できるようにしている。仕事内容、活動内容について日頃から話し合っている。	1	意見交換が充分に行えるよう話し合う場の確保をすすめる。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己№25～34・外部№15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	3	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)		自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
		25	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前、入居前に面談を行い本人の声に耳を傾け確認を行っている。日常生活（食事や散歩、団樂）の中でご本人から出された信号を職員全体で情報を共有し話し合いの中でニーズを探していく。	0	
		26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話、訪問で繰り返し機会を設けている。	0	
		27	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ほんわかハウス利用だけでなく、ニーズを把握した上で適切なサービスの紹介を行っている。	0	多様化するサービスの情報入手。
		28 外部評価 15	○ 馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家具等を一度に搬入するのではなく、その方の状況に合わせて行っている。場合によっては、自宅と行き来しながら時間をかけている。状況によっては、ご家族と一緒に泊まっていただくこともある。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	3	
	係り 2 継続 へ これ な ま の 支 援 関 係 づ く り	29 外部評価 16	○ 本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや洗濯物たたみなど一緒に行いながらコミュニケーションをとるように心がけている。食事の準備、和室のしつらえなど教えていただきながら関係を築いている。	1	ご本人、ご家族を交えた外出などを通じ学んでいく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には、日頃の生活や体調などを伝え、利用者の方も交えて会話を楽しんでいる。家族の思いを大切にし、家族無では入居者さんの生活は成り立たないことを説明し、共に関係を深めている。	0	
		31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者の方の誕生会や夏祭りにご家族をお誘いし、楽しい時間を皆で共有できるようにしている。双方の思いを大切にし、お伝えする際は表現や言葉に気を付けている。	1	外食などにも声をかけ、一緒に過ごせる機会を増やしていきたい。
		32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が自由に連絡が取れるよう電話も使用していただいている。その際、見守りを行い支援している。	1	外出の機会を設け、ご本人にとっての馴染みのある場所へ出かけられるよう支援している。
		33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が関係を築けるよう、必要に応じて職員が間に入り会話等の橋渡しを行っている。	0	様子を見ながら、外食等一緒に行っている。
		34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙のやり取りや来訪がある。	0	契約が終了してもそれまでに築いた関係を基に、手紙や電話などで連絡を取り合っている。
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己№35～51・外部№17～22)				自己評価 17 項目・外部評価 6 項目	4
	1	一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)		自己評価 3 項目・外部評価 1 項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	○ 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人にどのような生活を望んでおられるのか、直接お聞きしたり、様子を見て検討している。	0	日頃の会話や行動からも把握に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人がふと口にされた思い出話やしぐさなど気付きがあれば記録に残し、職員間で情報を共有することで把握に努めている。	1	ホームでの生活だけでなくご家庭や他の場所での様子はどうかであったかなど、「これまで」の情報も把握に努める。
		37	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人ひとりが生活記録に記録し、全員で把握できるように努めている。それらを基にミーティングで評価、考察を行い総合的な把握に努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	○ チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者はミーティング時等で様々な職員から意見を聞き、全員の意見を総合して介護計画を作成している。	1	介護計画を作成する過程で可能な限り、話し合いの場にも参加をいただけるような取り組み。
		39 外部評価19	○ 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の生活記録や普段の生活の様子から、ご本人にとって今何が必要なのかという視点を常を持って関わる。介護計画の有効期間に関わらず必要に応じて見直しを行っている。	0	
		40	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に介護計画に応じた、朝、昼、夕、夜間の時間帯でも記録し、ミーティング時に確認。その都度、口頭やメモでも担当者に情報を提供している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	○ 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度話し合いを場を設け、関係各所と連携して支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)	自己評価 1 0 項目・外部評価 2 項目	2	
	4	42	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの受け入れを行っている。	1	地域資源の充実。人的環境の変化に気をつけていきたい。
	4	43	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内外と連絡を取りつつある。	0	
	4	44	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への参加をきっかけに情報交換を行っている。	0	
	45 外部 評価 21		○ かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制を整え、常に医療機関と連携して支援している。医療連携日誌を活用している。	0	
		46	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医とよい関係作りが実現しており必要に応じて受診している。	0	
		47	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制を整え、常に医療機関と連携して支援している。医療連携日誌を活用している。週に二日以上は訪問していただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時より担当医、看護師等と連絡を取り早期に退院できるよう努めている。	0	
		49 外部評価22	○重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態の変化に応じ、今後予想されることをを含め協議している。	1	職員、本人、家族全員で情報を共有し意見交換を行い方針を定めていく。
		50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療連携ノートに状態を記録し、担当医、看護師に報告の上、準備を行っている。	0	
		51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前よりご自宅を訪問するなどして話し合いを行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己№52～89・外部№23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目	14	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81・外部№23～30)			自己評価3 0項目・外部評価9項目	12	
	その人らしい暮らしの支援	1	(1) 一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		52 外部評価23	○プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等は専用の棚で管理し、個々の生活歴に応じた声掛け、対応を行っている。	1	言葉遣いが乱れている面もある為、留意する。
		53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	「どうですか」など、質問の形で問いかけ、利用者の意思を尊重し自己決定を促している。	1	職員に余裕がないときなど職員で判断してしまっていることがあるため更に利用者本位をすすめる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	○ 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者個々の希望、ペース、一日の流れを把握し支援している。天気に関係なく外出することもある。	1	「～しましょうか」ではなく、「～しますか」と声の掛け方を考え、その方がその時間をどのように過ごしたいのか、希望に沿って支援している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出などの際には化粧などおしゃれをしていただきご本人のお好きな洋服を選んでいただいている。散髪は、利用者の方の希望や体調に合わせて外に行ったり、床屋に来てもらっている。	0	
		56 外部評価 25	○ 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切りやつぎ分け、味見など利用者の方々と一緒にすることを心がけ、食器の片付けも関わっていただいている。三食とも作る日を設けている。	0	
		57	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	人によっては嗜好が異なるので、状況に合わせて対応している。買物に行きご自分で選んでいただいたり、アロエ酒を作り、楽しんでいただいている。	0	
		58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	状況によってはオムツを使用されているが、時間を図ったり、各自のサインの把握に努めている。サインを見逃していることがある。	1	状態の把握に努める。
		59 外部評価 26	○ 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴ができていない日が続かないように、タイミングを見て入浴を楽しんでいただけるように支援している。	0	毎日入浴されている方も居られる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者それぞれの生活リズムに合わせた就寝、起床時間で支援を行っている。通廊に椅子やソファなど休憩場所の確保を行っている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		61 外部評価 27	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ドライブが好きな方が多いのでできる限り海や山に出掛けて季節を感じていただきながらリフレッシュしていただいている。炊事、洗濯、掃除は個別に日常的に行っていただいている。	1	ご家族やご本人から昔はどのようなことを好まれていたのかお聞きし、昔を思い出しながら、役割や楽しみごと、気晴らしの支援を進めていく。
		62	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族に説明の上了解を得て、ご本人の希望に沿って買物に出掛け買物の支払いも行って頂いている。難しい場合はホームでの生活費を介助しながら利用していただいている。	0	
		63 外部評価 28	○ 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	大半の時間をホームの中で過ごされることが多いが散歩や畑仕事、買物などに少しでも多く出かけるように心がけている。ご本人より外出の希望があった際には、できるだけそのときに、希望に添えるように努めている。	0	
		64	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	少人数であっても季節の移り変わりに応じて、花見、紅葉狩り、海、滝、森林浴など外出の機会を設けている。自宅へ外泊時にタクシーの手配や送り迎えを支援している。	0	
		65	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に使用していただけるようにしている。現在手紙を書かれる方はいないが以前は手紙を書かれることから投函までを支援している。必要に応じてこちらから声を掛け支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	居室や団欒の場を設け、台所なども開放し気軽に足を運んでいただける環境を整えている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	4	
		67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束を行わない介護を実施している。	0	
		68 外部評価 29	○鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが二階にあるため、階段があるところは常に鍵がかかっているため、入居者さんが動かれたときには速やかに開錠し自由に入出入りをしていただいている。	1	常時開錠に向けて状態の把握。
		69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に居られる場合でも常に見回り状態の把握に努めている。トイレに入られている場合など声掛けにて確認も行っている。目隠しや、カーテン、暖簾等でプライバシーに配慮している。夜間は定期的に巡視を行っている。	0	
		70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	やむを得ずその場において置けない場合のみ置き場所を変更している。	1	裁縫道具など状況に応じて個別に準備している。
		71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを準備している。外部研修への参加、勉強会等を行い、事故報告書、ヒヤリハットに全員目を通し、ミーティング時再発防止に向けて協議している。	1	勉強会、協議の場の充実。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年1回内部、または外部の救急救命講習の参加。	0	
		73 外部評価 30	○災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方へは、まだほとんど協力体制が出来ていない。ただ併設の施設からの協力体制はマニュアルもあり得ている。年2回消防訓練の実施。	1	地域との相互の協力体制を図れるよう働き掛けを行っていく。
		74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	離園、転倒をはじめ様々な予測される事故等を説明しつつ、普通の暮らしの中に考えられるリスクについて説明同意を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己№75～81・外部№31)	自己評価7項目・外部評価1項目	3	
		75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝の血圧測定を行い、体調不良が見られれば速やかにドクターへ連絡を行っている。日頃の状態から注意し体調の変化を見逃さないようにしている。	1	変化を見逃さない為の、各スタッフのスキルアップ。
		76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の処方箋は個人ファイルに納めてあり、誰でもすぐに目を通せるようにしてある。又、薬の変更時には記録に残し、皆が目を通してある。処方されている薬を一覧表にまとめ、処方目的、用法、用量、副作用を明記している。その他、追加変更等を医療連携日報にて確認している。	0	
		77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立表を作成する際、便秘の予防に繋がる作用のある食材の導入を行っている。水分摂取。適度な運動、腹部マッサージの実施。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週に1回歯科医の往診を受けて頂き、口腔内のケアをして頂いている。又、指導を受けている。	1	ご自分でされない方もおり、拒まれる方もいるので全員の口腔ケアは出来ていない。
		79 外部評価31	○ 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1食単位でなく入居者の生活に必要な栄養、水分が確保できているか、個別に確認、対応をしている。栄養のバランスを考え栄養士に相談しながらメニューを作成。	1	栄油脂に献立を見て頂き、相談、アドバイスを受けながらメニューを作成していくようにしたい。
		80	○ 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種。手袋の使用。マニュアルを基に行っている。感染症に関しては、定期的に医療機関で検査を行っている。	0	
		81	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	時間の経過した食事は処分する。布巾は毎日消毒し、食器は洗浄後に乾燥機かける。手洗いの徹底。マニュアルに基にチェック表などを用いて管理している。新鮮な物の購入。期限の確認。	0	
	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己№82～89・外部№32～33)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己№82～86・外部№32～33)		自己評価5項目・外部評価2項目	2	
		82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関のドア・鍵など検討中。	1	玄関周りに花が少ないので、もっと花を植え親しみやすく入りやすいようにしたい。
		83 外部評価32	○ 居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、居室、リビングに季節の花を飾っている。カーテン、障子で調整している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い 思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置き、そこで利用者同士お話を されていることもある。	0	
		85 外部 評価 33	○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣 れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような 工夫をしている	居室にはご本人が使っていた物や好きな物を置 き、飾っている。バックグラウンドアセスメント を基に、家具や物品を活用している。	0	
		86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節 は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこま めに行っている	温度計、湿度計を使用し換気を行い、特に夜間は 室温調節に気をつけて見回りを行っている。	0	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)		自己評価3項目	0	
		87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ 自立した生活が送れるように工夫している	ベッドの高さや家具の配置、補助用具等個別に対 応。通りに椅子やソファを配置し休憩できるよ うになっている。	0	
		88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮 らせるように工夫している	表示方法や説明方法を、一人ひとりに合わせて提 供している。表札、日めくりなど個別の暦。	0	
		89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように 活かしている	中庭に畑があり、一緒に種をまいたり手入れ収穫 を行っている。ベランダにプランターで花を育て ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該 当 番 号 を 該 当 番 号 欄 に 入 力 す る こ と)	該 当 番 号	
サ ー ビ ス の 成 果 に 関 する 項 目	90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1 回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1		
	98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	○職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2 / 3 くらいが 職員の1 / 3 くらいが ほとんどいない	3	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2 / 3 くらいと 家族等の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。